

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.13	職員一人ひとりのケア方法や接遇等の能力に差がある。	職員のスキルアップを図る。	事業所内での勉強会を開催し介護技術の向上と共に接遇など社会人として介護職として最低必要な技術と知識を全職員が習得する。	6ヶ月
2	No.33	加齢にともない認知症の進行、ADLの低下、医療ニーズの増強等で入居者さんが重度化している。	重度化に対応できる事業所となるべく終末期のケアに着眼点をおき、ターミナルケアを充実させる。	看取りについての勉強会を実施する。医師、看護師と連携をとりターミナルケアの充実に取り組む。	6ヶ月
3	No.49	ほとんどの入居者さんは、月に1~2回程度外出しているが、数名の入居者さんは外出頻度が少ない。	外出できる機会を増やし、頻度の少ない入居者さんでも参加できる外出を企画する。	外出しやすい環境を整えるため、まずは業務の見直しを行い職員と入居者さんが無理なく外出できる計画を立てる。	3ヶ月
4	No.23	入居者さん個々の思いやニーズをアセスメント出来ていないことがある。	入居者さん一人ひとりの思いやニーズを把握する。	入居者さんと個別で関わる時間をつくり一人ひとりの思いに寄り添いながら、ニーズを把握してアセスメントを作成する。アセスメントに沿った支援が実施できているかカンファレンス等で話し合う。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。